

在大阪オーストラリア総領事館
総領事
デイビッド・ローソン



デイビッド・ローソンは1997年にオーストラリア貿易促進庁（オーストレード；現在はオーストラリア貿易投資促進庁）に入庁し、領事兼トレード・コミッショナーとして赴任し仙台を2001年まで拠点とする。その後、4年間にわたり南オーストラリア州アデレードでオーストレードのトレード・コミッショナーを務める。

2005年から2009年まではオーストラリア総領事兼トレード・コミッショナーとしてサンフランシスコに赴任。2010年にはオーストレード本部、札幌での任務にあたり、同年11月には横浜でAPEC調整官を務める。

2011年にオーストラリア総領事館をモンゴルに開設する任務を担いウランバートルに拠点を移す。2012年にはモンゴルでの初代オーストラリア総領事兼トレード・コミッショナーを務め、2013年-2014年はオーストレードのニュー・サウス・ウェールズ州及び首都特別地域担当ディレクターとしての任務にあたる。

2015年1月に在日オーストラリア大使館 参事官（商務）の任務に就き、サービス・テクノロジー分野及び主要スポーツイベント部門を担当し、2016年12月に駐大阪オーストラリア総領事に着任した。

オーストレード入庁前は日本において輸入住宅の取り扱いを専門とする独立コンサルタントを立ち上げ9年間活動し、オーストラリアとパプアニューギニアで日本の鉱業会社と密接に仕事をした経験を持つ。

オーストラリア国立大学で経済学及びアジア学を専攻。また、アデレード大学では科学技術の実用化に特化したコマーシャライゼーション・オブ・サイエンス・アンド・テクノロジー修士号を取得する。